

自民党党大会で改憲を運動の柱に 本腰を入れて戦争準備

自民党は3月8日、結党60年となる第82回党大会を開き、憲法改正を柱とした運動方針を決定したとマスコミは報道しました。

運動方針にはこのほか、「アベノミクス」の完遂や、戦後70年に当たり近隣諸国との関係改善と靖国神社参拝の継承などを謳っています。近隣諸国との関係改善と靖国神社参拝の継承とは相容れないものであり、矛盾した方針には理解に苦しむところです。ますます格差社会が拡大し、労働者・一般市民にとっては犠牲を強いられる方針です。

安倍政権や安倍政権を支えるマスコミなどは、「イスラム国」問題を「追い風」に改憲ムードへと世論操作を行っています。しかし、この間の戦争の歴史は、敵国をつくり国民に戦意を持たせるための情報操作がされてきました。また、武力では問題は解決できず、武力行使は負の連鎖をさらに拡大することが教訓です。

改憲は、戦争するための準備です。改憲後は、若い人たちは徴兵され、労働者は戦争のための動員を強制されます。JR東海労は、全ての戦争政策に反対します。

『静岡新聞』3月9日

自民結党60年、改憲前面

党大会

自民党は8日、第82回党大会を東京都内のホテルで開いた。今年は結党60年の節目となり、党首安倍晋三首相（党総裁）も強い意を示す憲法改正を前面に打ち出した。15年運動方針を採択した。首相は4月の統一地方選挙勝利を旨とし、結束を訴えた。「日本人の命と平和を守る責任がある。日本の領土、領空、領海は断固守り抜く」と述べ、安全保障体制の速やかな整備に意欲を示した。党大会は第3次安倍政権発足後初めて。

首相は、エネルギッシュな「統一選」について「選挙に勝ち抜く。共に進んでいく。共進を意図し、戦後以来の頑張りを見せていきたいと思います。大改革に挑んで成長戦略を前に進めたい」と表明。同時に「統一地方選挙に必ず勝利し、地方で安定した政治体制をしっかりと確立する」と述べた。運動方針は、改憲実現を求めた。

東日本大震災からの復興に「除染を加速させ、福島を確実に回復させる。福島、東北の復興なくして日本の再生はない」と表明した。

東京都内のホテルで開かれた自民党大会で万歳し、氣勢を上げる安倍首相（中央）ら＝8日午後

自民党運動方針ポイント

- ・憲法改正を党として出さず、保守勢力の維持（改憲論者）を軸に、改憲論者との関係改善を推進
- ・統一地方選、2016年参院選の必勝を期す
- ・アベノミクスを完遂。地方に実感が届く。景気回復を加速
- ・戦後70年に当たり近隣諸国との関係改善に尽力。靖国神社参拝を受け継ぐ
- ・東日本大震災の集中復興計画を終了後の5年間の復興計画は16年度予算編成要求と共に閣内を整理

戦争にNO！を突きつけるために、 田城郁参議院議員と共に闘おう！